



Johnson Matthey

News Release

For immediate release

プラチナ

**宝飾向け需要は減少するものの、一次供給と二次供給を合わせた総供給量の伸びは限られるため、
2016年のプラチナ市場は供給不足のままであろう。**

2017年のプラチナ市場は2011年以来初めて供給が需要を上回る可能性もある。

2016年予想：13.0トンの供給不足

南アフリカからの供給量は減少するものの、その他の地域における生産が伸びることと、宝飾部門を中心にリサイクルからの供給が増えることにより、一部相殺されるであろう。鉱山からの一次供給とリサイクルからの二次供給を合わせた2016年の総供給量は、前年を若干上回るものと予想される。

Euro 6b 規制の完全施行によりヨーロッパにおける自動車触媒向けのプラチナ需要は増加。ヨーロッパを除くほとんどの地域では需要が減少するものの、2016年の全世界における自動車触媒向け需要は1.6%増加するであろう。その他の産業用需要は、中国における生産能力の拡大が続いていることにより堅調である。円建てでのプラチナ価格が低めに推移したことや、金価格よりもプラチナ価格の方が安い状況が続いたことは、日本における投資用地金の販売にとって追い風になっている。日本の投資用地金の旺盛な需要に支えられ、投資需要は好調を維持するものと見込まれる。しかしながら、中国における宝飾向け需要が3年連続下落した事により、宝飾部門におけるプラチナ需要は9%の減少となろう。

2017年の展望

2017年の一次供給量は良くて横ばいであろうが、使用済み自動車触媒からのリサイクル量は価格低迷による2年連続の不振から抜け出す可能性がある。ほとんどの産業用需要は堅調であろうが、自動車触媒向け需要は、ヨーロッパで一台当たりの担持量が少ない触媒システムの搭載された車が増えることにより、僅かに減少すると予想される。中国における宝飾向け需要は減少トレンドに入ったと見られる事から、使用済み自動車触媒からのリサイクル量と投資需要の動向により、需給バランスは決定されるであろう。後者の需要が2016年と同程度を維持する事が無ければ、2017年のプラチナ市場は2011年以来初めて供給過剰になるものと思われる。



Johnson Matthey

パラジウム

2016 年のパラジウム市場は 20.1 トンの供給不足となろう。

使用済み自動車触媒からのリサイクル量が回復する可能性や、投資需要の水準を考慮したとしても、パラジウム市場は 2017 年も引き続き大幅な供給不足になると予想される。

2016 年予想：20.1 トンの供給不足

鉱山における生産量は横ばいにとどまるため、2016 年の総供給量はリサイクルの微増に伴う僅かな上昇にとどまるであろう。自動車触媒向け需要は前年から 2%以上増加の 243.9 トンとなり、新記録を再び更新するであろう。その他の産業向け需要は僅かに減少する見込みである。2015 年に比べれば上場投資信託 (ETFs) の売りは幾分減少するものの、投資需要は引き続き売り越しとなろう。全体的には、パラジウム市場は引き続き相当な供給不足のままであると予想される。

2017 年の展望

車体重量 3.5 トン以下の小型ガソリン車の世界生産は更なる増加が見込まれ、北米や中国では排ガス規制が強化されることから、自動車触媒向け需要の増加傾向は継続するものと考えられる。使用済み自動車触媒からのリサイクル量が増えれば二次供給量は回復する事が予想されるが、鉱山からの一次供給量が伸びる可能性はほとんどない。中国の化学業界による大規模な設備拡張により、産業用需要は強いと考えられることから、投資需要が引き続き売り越しであったとしても、2017 年のパラジウム市場は再びかなりの供給不足となろう。

PGM Market Report November 2016 の全文は 2016 年 11 月 14 日英国時間午後 1 時より www.platinum.matthey.com/services/market-research/pgm-market-reports からダウンロード可能です。

PGM Market Report には白金族市場に関するより詳細なデータ、分析、解説が掲載されています。プラチナ、パラジウム、ロジウムに関しては国別の供給量と用途別の需要が、ルテニウムとイリジウムに関しては用途別の需要が掲載されています。掲載されている数値は過去 5 年間の動向と我々の今年の予測になります。情報は半年ごとに、5 月と 11 月に更新されます。

Follow us on

